

毎日手作り

京唐紙は、古くから伝わる伝統文様を彫刻した版下に、雲母(きら)、胡粉、布海苔、顔料などを調合した絵具を乗せ、手のひらの温かさで擦り上げる伝統紙です。

主にふすま紙や壁紙として使用されており、現代も受け継がれています。

殆どが和紙にしか使われていないのですが、今回は版下の代わりに伝統模様が彫られた版木スタンプを使い、思い切って板紙に擦り上げてみました。

まずはポストカードに、そして楽しい2種類のコンストラクションの箱へ擦り上げました。

唐紙の美意識を、上手く板紙へ表現できたのではないのでしょうか。



色々な板紙へ擦り上げたポストカード



版木スタンプ

お求めは、株式会社丸二まで
<https://maruni-kyoto.co.jp/>



カッパーレッド
古紙配合率 70%
270g/㎡



エックス
古紙配合率 70%
120g/㎡

